



がんばれ! 子育て日記

一緒に汗を流し、できた時には
しっかり評価を!



現代の子どもは『我慢ができない』、『無気力』、『他人との深い関係を望まない』などの傾向が指摘されているため、「もしかしたら…うちの子もそうなんじゃないか…」とつい考えてしまうお父さん・お母さんも多いかもしれません。

しかし、はたしてそうなのでしょうか？

実はただ単に、まだ「自分が本当に関心を持てること」や「一緒に遊びたい友達」を見つけられないだけなのかもしれません。

なので、小学校の低学年くらいまでは「勉強って意外と楽しいものなんだな」というように子どもに気付いてもらうための期間と考えてはどうでしょうか。

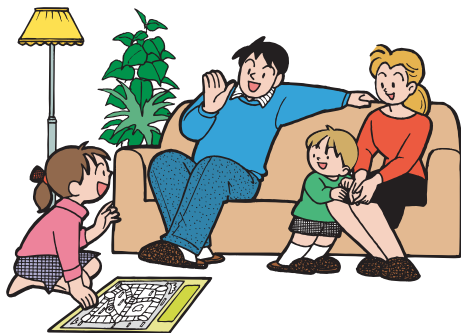


もちろん、低学年でも意欲的に勉強している子どもいます。でも、そのためにはお父さん・お母さんが学校で勉強していることに対して「今日は何を習ったの?」「へえ～、お母さんも知らないことを知っているんだ～」と関心を示すことがとても大切です。

そして、だんだん好きな科目や得意な科目がはっきりしてきたら、「あなたは理科が好きだから科学者になったらどう?」などと励ましてあげると、自信を育てることができるようになるでしょう。



また、男の子の場合は「テレビゲーム」に熱中してしまう子どもも多いようですが、それらから引き離すためには、例えば、お父さんが時々キャッチボールやサッカー、相撲の相手になってあげてみてはいかがでしょうか。一緒に体を動かし、触れ合って汗をかき、上達してきたら「うまくなったね!」と評価してあげると、テレビゲームよりずっと大きな達成感が得られるのではないのでしょうか。



また、「おつかい」をさせる時にも、「晩ごはんは食べたいものを作ってあげるね!」と買い物リストを子どもと相談しながら作ってみるのも良いでしょう。

また、「学校の準備」でも本人が本当にその必要性を感じるようになるまではミスが多いかもしれません。なので、当面はお父さん・お母さんが一緒になって「明日は体育があるからウエアが必要よね」というように、「自分は明日何が必要なのか」を自覚させていくようにしてみてはいかがでしょうか。そうすれば、少しずつ自分で自分の面倒をみる力がついていくでしょう。